

### 5・3 憲法集会 in いわて挨拶（2023年5月3日）

5・3 憲法集会 in いわてにご参加の皆さん、こんにちは。日本共産党の県議会議員、斉藤信でございます。心からの連帯の挨拶を送ります。

今年の憲法記念日は、「戦争か平和か」が問われる重大な情勢の下で開かれています。敵基地攻撃能力の保有は「戦争しない国から戦争する国へ」の大転換であり、憲法9条を踏みにじるだけでなく、歴代自民党政権でさえ守るとしてきた「専守防衛」の原則も投げ捨てるものです。5年間で43兆円もの軍事費の拡大は、平和と国民の暮らしを破壊するものです。今年度の政府予算では、社会保障費が1500億円、農林水産業費も中小企業対策費も教育予算も削減されました。さらに、復興特別所得税の半分を軍事費に回す、老朽化した国立病院を放置して国立病院機構の積立金を軍事費に回すことまで行おうとしています。核戦争に備えて、自衛隊は岩手駐屯地を含め約300の基地の地下化・強靱化を進めています。

皆さん、運動を広げるうえで重要なことは、どうしたら日本とアジアの平和を守ることができるのか、平和の対案を語り広げ、国民の不安と疑問に答えることです。ロシアのウクライナ侵略の背景にヨーロッパにおける外交の失敗、軍事対軍事の対決がありました。しかし、アジアには、軍事同盟の加盟国は日本と韓国しかありません。アセアン（東南アジア諸国連合）は、紛争を対話と外交で解決する体制を構築し、東アジアに広げようとしています。今、求められているのは、中国などを排除するのではなく包摂して、対話と外交で紛争を解決する平和の体制を構築することではないでしょうか。

今日の朝日新聞の憲法世論調査では、「憲法9条を変えないほうが良い」が55%、「変えるほうが良い」が37%となっています。

平和を守るためには、大軍拡という戦争の準備ではなく、平和の準備こそ進めるべきではないでしょうか。

闘いはこれからです。憲法守れ、平和とくらし守れの草の根からの世論と運動を広げ、大軍拡、大增税をストップさせましょう。市民と野党の共闘で自民党の悪政にストップをかけましょう。来るべき知事選挙では、大軍拡に反対し憲法9条を守れと表明している達増県政の継続発展を勝ち取りましょう。

日本共産党は、皆さんと力を合わせて憲法を守り、憲法を平和と暮らしに生かすために全力で頑張る決意です。共に頑張りましょう。